

岩手県「新しい公共」創出支援事業

復興に向けて、今、できること。

まちづくりコーディネーター

養成講座 - 2011 -

今年は全県より参加者募集 (参加費無料)

全6日間で、まちづくり (まち育て) の基本を学びます。

2011年10月 9日 (日) ~ 10日 (月・祝) 10:00 ~ 17:00

会場: いわて県民情報交流センター「アイーナ」

11月 5日 (土) ~ 6日 (日) 10:00 ~ 17:00

会場: いわて県民情報交流センター「アイーナ」

12月 3日 (土) 9:30 ~ 17:00

会場: 紫波町

2012年 1月28日 (土) 10:00 ~ 17:00

会場: いわて県民情報交流センター「アイーナ」

<講座内容>

☆合意形成のための話し合いの技術

☆計画づくりのための技術

☆真のニーズを引き出すためのインタビュー技術

☆課題を素材に変えるフィールドワーク術

☆先進地における取組みの事例

☆仲間づくりの場をつくる技術

申込締切
9/30 (金)

<http://kazenami-design.sakura.ne.jp/>



まち育て、
あなたも一緒に
はじめませんか?

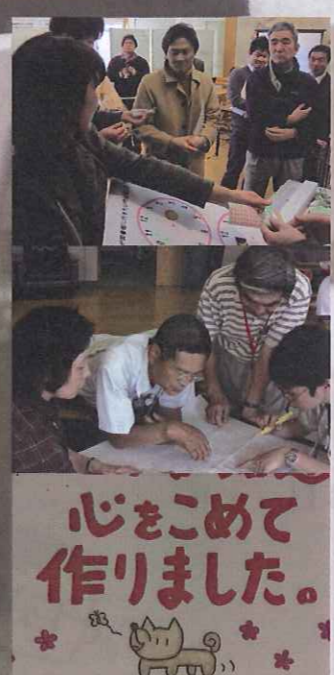
2011年10月9日 (日)
10日 (月・祝)
11月5日 (土)
6日 (日)
12月3日 (土)
~この間、講座間活動~
2012年1月28日 (土)

定員30名
(先着順に受付します)

講座時間 10:00 ~ 17:00
(12月3日は 9:30 ~ 17:00)
受講料: 無料
※別途、テキスト/資料代 3,000円を
ご用意下さい。
昼食等はご持参下さい。

被災地をはじめ、これからはまちづくりには、行政だけでなく、市民一人ひとりの力が必要です。しかし、多様な価値観の中でみんなで力を合わせることは、そうそう容易ではありません。一人ひとりの間をはじめ、市民と行政、市民と企業、または組織同士や地域同士をつなげ、紡いでいくのがコーディネーターと呼ばれる人です。これから各地で詳細な復興や福祉、そして地域づくりが計画され、実践されていきます。そして、それぞれを紡ぐコーディネーターがたくさん必要になることでしょう。そのために、私たちは紫波町を中心に培った経験や技術を、皆さんにお伝えしていきたいと考えています。

地域コミュニティ創造事業運営協議会



まちづくりコーディネーター養成講座

学べるポイント

故郷の未来を
創るために

Point 1 【真のニーズを引き出すためのインタビュー技術を学ぶ】

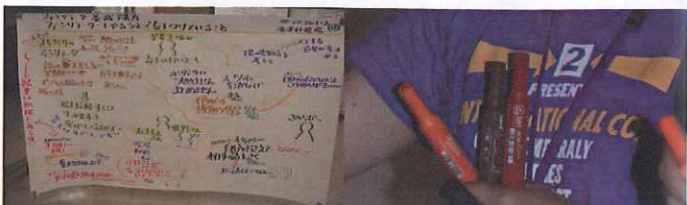
10月 9日 (日)



一人ひとりの思いがまちづくりの原点です。インタビュー技術とは、引き出し方、関わり方、寄り添い方をトレーニングし、仲間づくりを実感していきます。

Point 2 【合意形成できる話し合いの技術を学ぶ】

10月 10日 (月)

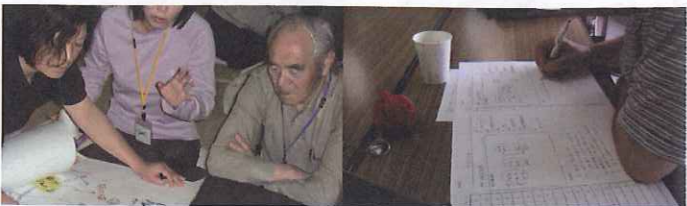


ファシリテーショングラフィックをはじめ、カラダや言葉のコミュニケーション、カードを使った情報生産技術や、一人ひとりの意見やアイデアを大切に方法方法を学びます。

Point 3 【プロセスデザインを学ぶ】

11月 5日 (土)

11月 6日 (日)



物事を考える手順、道筋の組み立て方を学びます。あなたの企画や思いを具現化することができます。

Point 4 【現場に出て、五感を使いながら、課題を素材に変える手法を学ぶ】

12月 3日 (土)

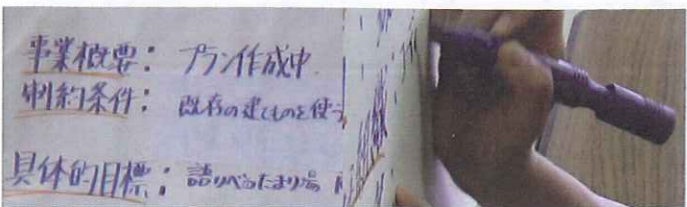


コーディネーターの立場でまちあるきを行い、素材の引き出し方や見つけ方を学びます。

Point 5 【総合的な事業デザインを学ぶ】

トータル・プロセス・デザイン

2012年 1月 28日 (土)



まちあるきで得た素材を元に、総合的な事業デザインを実習します。それは道のりだけでなく、人や組織、そして場の運営方法を設計します。

全日程を通して、まち育てに必要なスキルを学びます。一方的に講義を受ける方式ではなく、体験や練習を通してそれぞれの学習ペースで学んでいきます。また、皆さん同士の交流の時間も多くなります。



新潟県における復興の事例はもちろん、紫波町で行われた実際の事業の事例も紹介します。またこれにより、プロセスデザインの大切さを学びます。



福祉、教育、都市計画、産業・・・、まちづくりには様々なテーマがあります。行政や民間の、実際に関わっているその道のプロが各グループについて皆さんと一緒に学びます。



講座修了後、それぞれのグループテーマに合わせて、実際に現地に伺って活動を行います。現地のキーマンに合ってインタビューを行ったり、課題を掘り起こしてみたり、コーディネーターとしての一歩を踏み出してみよう。

もちろん、フォロー体制も確立しています。岩手県 NPO 活動交流センターをはじめ、紫波町市民活動支援センター「ゆいっとサロン」にて相談窓口を開いています。また、県内各地域にある市民活動センター、それぞれの地域の NPO、そして各市町村の協働の窓口などでも相談をしてみると、きっと出口が見つかります。

コーディネーターの役割は？



新潟県をはじめとする復興の過程では、その地に住民の一人ひとりが多くの役割を担って、復興に取り組んでいます。なぜなら、その地のことを一番よく知っているのは、その地に住んでいる住民であり、その地を作り上げているのは、その地に住んでいる住民だからです。しかし、復興には多くの力を必要とします。震災で失ったものがたくさんあるからです。そのために、たくさんの人たちの力を借り、今まで眠っていた価値や、その地ならではの文化や歴史、そして知恵などの魅力を磨いたり、もう一度掘り起こしたりする必要があります。そのための技術、みんなで力を合わせる場、道程を組み立てる人物がコーディネーターです。

<http://kazenami-design.sakura.ne.jp/>

今、復興に取り組んでいる地域で起こっていること



市民会議を立ち上げた
空き民家を地域の居場所に
廃校を宿泊施設に
伝統工芸を再生させ、
業をおこした

地域の案内看板をつくった

里山を開放しみんなの森をつくった

特産品と地域の食で
コミュニティレストランを作った



■受講についてお申し込みは

地域コミュニティ創造事業運営協議会

(運営主体：紫波町
NPO 法人 風・波デザイン)

TEL/FAX：019-672-5917

(事務局：風・波デザイン内)

〒028-3309

紫波町北日詰字八反田 28-20-2F

shiwa@kazenami-design.sakura.ne.jp

◎ NPO 活動交流センターでも
受け付けております。

〒020-0045

岩手県盛岡市盛岡駅西通 1 丁目 7 番 1 号

TEL：019-606-1760 FAX：019-606-1765

n-katsu@aaina.jp